

大阪・関西万博から世界へ

— スイス・CAUXからはじまる 国際協働による平和教育レガシー事業 —

# INOCHI WORLD PROJECT





### 【プラネタリウム・科学館】

国内外の公共施設であるプラネタリウムを活用し、母子の内的成長に寄与。IPS世界プラネタリウム大会・ヨーロッパ最大のフルドームフェスFFBに選定されています。

### 【世界遺産・日本遺産】

日本の聖地で親子3代でいのちの繋がりをを感じる。世界遺産高野山では2023年に弘法大師空海1250周年記念事業として2か月に渡り開催。世界遺産熊野本宮大社・出雲大社・竹田城跡等文化遺産にて実施されています。

### 【オーケストラ】

本作をオーケストラバージョンにし、世界的指揮者の佐渡裕氏指導のスーパーキッズオーケストラによる生演奏にて公演を実施。芸術による文化育成の基盤。

### 【教育】

大阪大学や神戸大学など国立大学とアイデンティティ教育プログラムの共同開発。慶應義塾大学との脳波の共同研究を実施。文科省の「生命の安全教育推進事業」で実施されており、観るだけで自己肯定感を高めることができることがわかってきている

### 【グローバル】

世界女性会議では、世界158カ国の女性から10分間のスタンディングオーバーションの評価を受けました。タイ国連エクスカーションでも実施。世界の様々な宗教観を超えて、いのちという価値観は共振共鳴することを実感。

# 万博から生まれた国際平和教育 ART プロジェクト

INOCHI WORLD PROJECT は、

大阪・関西万博博覧会協会の協力催事として、EXPOホールにて6000人に開催された  
《LIFEいのち with スーパーキッズ・オーケストラ》を起点に生まれた  
「いのち」を体感し、表現する、循環型の国際平和・教育ARTプロジェクトです。

ART映像作品「LIFEいのち」・いのち会議テーマソング「いのち/INOCHI」を軸に国内外に展開していきます。

主催：一般社団法人Feel&Sense 共催：いのち会議 後援：公益財団法人大阪観光局

特別協賛：サントリーホールディングス 〈左下 鳥井会頭ご来場頂き、これは万博開会式でやりたかったとお話しくださいました〉

協賛：大和リース・アドベンチャーワールド・レンゴー・ダイキン・住友電工・関西電力・ゼロ精工・直原ウィメンズクリニック



## 本プロジェクトの意義

本プロジェクトは、次世代を担う子どもたちが「いのち」をテーマに集い、音楽と対話を通じて相互理解を深める国際文化教育プログラムです。

子どもたち一人ひとりが「いのち」を感じ、考え、表現するプロセスそのものを通じて、他者を尊重し共に生きる力を育み、その体験を未来、そして平和へと継承していくことを目的としています。

本プログラムでは、2025年大阪・関西万博において実施された

「いのちを体感するARTプログラム」と、世界へ発信された「いのち会議のテーマソング」を基盤に、世界各国の子どもたちが自らの内面と向き合い、「いのちとは何か」「生きるとは何か」を問い、そこから生まれる一人ひとりの“いのちの声（心の声）”を言葉や表現として集めていきます。

それらの声を重ね合わせることで、平和と共生へのメッセージを次の世代から世界へ発信してまいります。

本事業は、2025年大阪・関西万博を契機に生まれた、

「いのち」を後世へとつなぐ万博レガシープログラムとして継続していきます。

## 大阪・関西万博から、世界へ 世界中の児童合唱団とともに

INOCHI WORLD PROJECTは、  
世界的な平和と対話の拠点であるスイス・CAUXと連携し、  
国際協働パートナーとして、本プロジェクトを世界へと展開していきます。

約3か月にわたるCAUX代表との協議を重ね、  
大阪・関西万博の精神と成果を未来へ継承する国際レガシープロジェクトとして進化しています。

世界中の児童合唱団とともに歌い、「いのち」という普遍的な価値観を、次世代へ届けていきます。



# 2つの80周年が重なる、歴史的な必然



**SDGs目標16 「平和と公正」 / ESG経営との直接的整合**

# 万博から、 平和の象徴スイス・CAUXへ

— CSRの発展と平和を結びつけてきた世界的拠点 —



スイス・Cauxは、第二次世界大戦直後から、

「経済活動と平和・社会再建の融合」に世界で最も早く取り組んできた国際的対話拠点です。

人の内なる変容を起点に社会をより良い方向へ導く思想のもと、

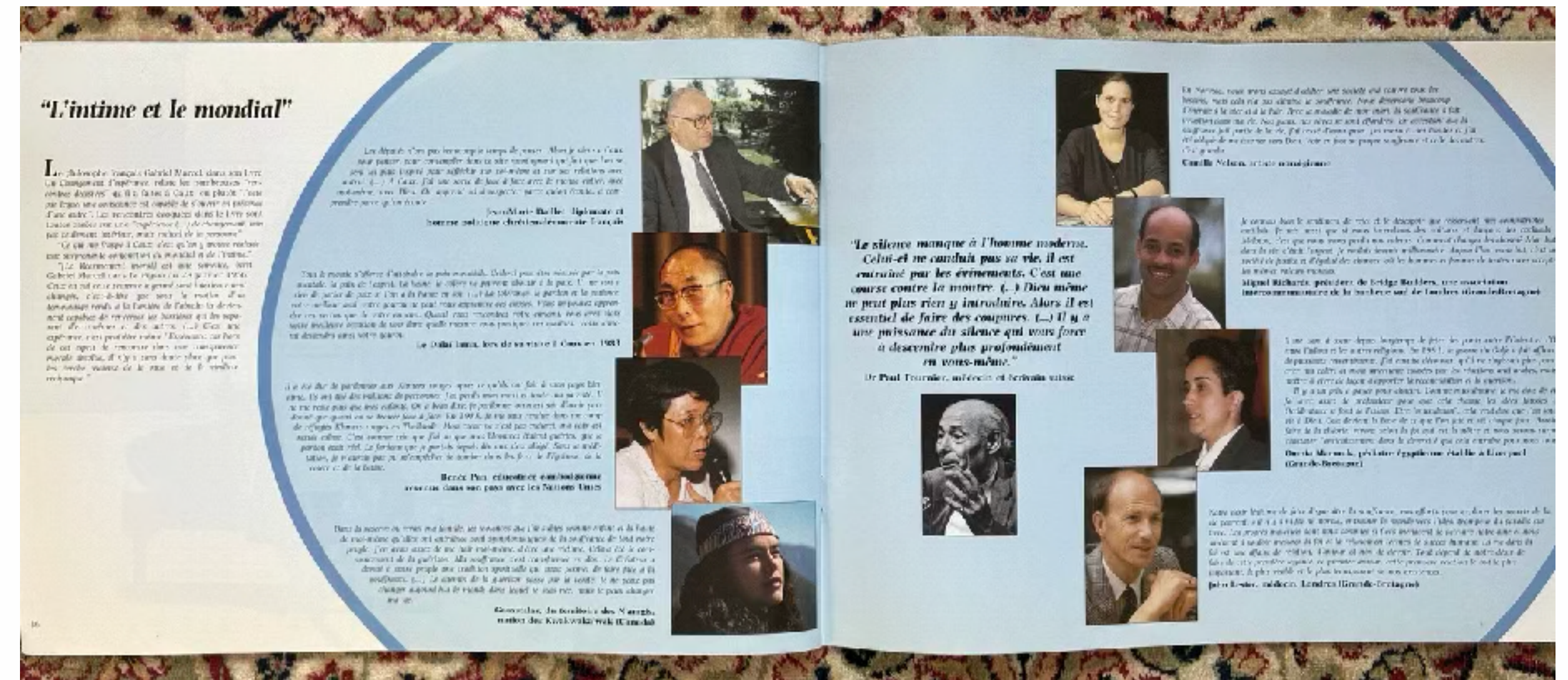
その理念はCSRの国際的発展にも大きな影響を与えてきました。▶INOCHI WORLD PROJECTと根幹が共鳴

現在は、Caux Palaceを拠点とするスイスの民間慈善財団 Caux Foundation を基盤に、

国際NGO Initiatives of Change (IofC) を中核として、36か国以上の国際ネットワークで活動しています。

# スイス・CAUXと ドイツ ・フランス との関係

スイス・CAUXは、第二次世界大戦終結の翌年、  
スイス財界のリーダーたちが、長年戦争を繰り返してきた  
ドイツのアデナウアー首相と、フランスのシューマン外相  
(後のEUの父) を招き、  
両国間の恒久的な平和への対話の場を実現させました。



## 独仏和解→ECSC誕生

両国の和解は、戦争の原因であった石炭・鉄鋼産業の統合へとつながり、**欧州石炭・鉄鋼共同体(ECSC)が誕生。**

## 世界最大の共同市場形成

欧州共同市場の形成を経て、現在の27か国による世界最大級の共同市場へと発展。

## 平和び実施の場

世界平和の実現には経済の共生が不可欠であることを、共同市場という形で示した歴史的プロセスです。

# 日本🇯🇵とCAUXの関係。 第二次世界大戦後 日本が国際社会へ踏み出した原点



1950年代、日本が主権を回復し国際社会へ復帰する過程において、  
政府・自治体・経済界の代表団（広島・長崎の市長）がCAUXを訪問し、平和と国際協調への意思を世界に示しました。  
**東芝石坂泰三社長（1970年大阪万博の成功にも関わった日本万国博覧会協会会長・経済団体連合会会長）も訪問し、日本の世界平和への貢献を宣言しました。**

世界のビジネスリーダーが参加  
CAUXでは、**コー・ラウンドテーブル**が発足。  
日本からは当時の民間企業を代表して、  
**松下電器の山下俊彦会長、キヤノンの賀来龍三郎会長が参加。**

**この時CSRを表す言葉として「共生」という言葉が誕生**  
CAUXで育まれた「和解と内的変容」の思想は、  
1970年大阪万博の理念「人類の進歩と調和」にも通じるものであり、  
万博は、日本が国際社会の一員として再び立ち上がる  
象徴的な場となりました。

# CAUX × INOCHI WORLD PROJECT



## 国連が認める国際NGOとの公式連携

United Nations Economic and Social Council

CAUX Initiatives of Change (IofC) は、  
国連ECOSOC特別諮問資格を有する国際的に高い信頼性を持つNGOです。  
この資格により、国連会議への公式参加、政策提言、文書提出、  
国連機関との正式連携が認められています。



INOCHI WORLD PROJECTは、CAUXと国際協働パートナーとして連携し、  
国際社会からの信頼性・透明性が担保された枠組みのもとで、本事業を推進していきます。

CAUXの国際ネットワークと共に、日本・フランス・ドイツ・スイスの政府・企業パートナーと協力しながら、  
世界展開を行っていく計画です。

## このプロジェクトの3つの大きな意義

### ① **CAUX**という歴史的国際平和拠点と万博レガシーとの連携した国際展開

- ▶ 大阪・関西の国際的価値向上（MICE・文化発信）PR・
- ▶ 万博レガシーの国際的な可視化・広報効果 → 国際的プレゼンス向上

### ② 日本の価値観を文化として共有する平和貢献アートと子どもたちの表現を通して 分断を未然に防ぐ文化的アプローチによる平和貢献です。

### ③ 企業にとっての社会的価値

貴社のESG経営・CSR活動における国際的なコミットメントとして位置づけていただけます。

- **SDGs目標16**「平和と公正をすべての人に」との直接的な整合
- **国連ECOSOC特別諮問資格**を持つCAUXとの公式連携による透明性・信頼性の担保
- **次世代への投資**として社内外へ発信できるストーリーとコンテンツの提供



# CAUX 設立 80 周年記念セレモニーにて INOCHI WORLD PROJECTは**オープニング**で発表・発足 日本とドイツ・フランス・スイスの児童合唱団が集い、 いのち会議のテーマソング「いのち/INOCHI」を歌い、「未来平和宣言」を行います。

大阪・関西万博が開催された2025年は、

**日本・フランス・ドイツにとって第二次世界大戦終結から80年**という歴史的節目の年にあたります。

そして、この三国が戦後、対話と和解の歩みを重ねてきた象徴的な場所こそが、スイス・CAUXです。

**そのCAUXは、2026年は設立80周年を迎えます。**

**この地からCAUXと共に、万博「万博のレガシー」を世界へ向けた平和へのメッセージとして発信できることになりました。**

いのち会議テーマソング「いのち/INOCHI」を  
スイス・フランス・ドイツ・日本

4カ国の児童合唱団が以下の場所で歌います。

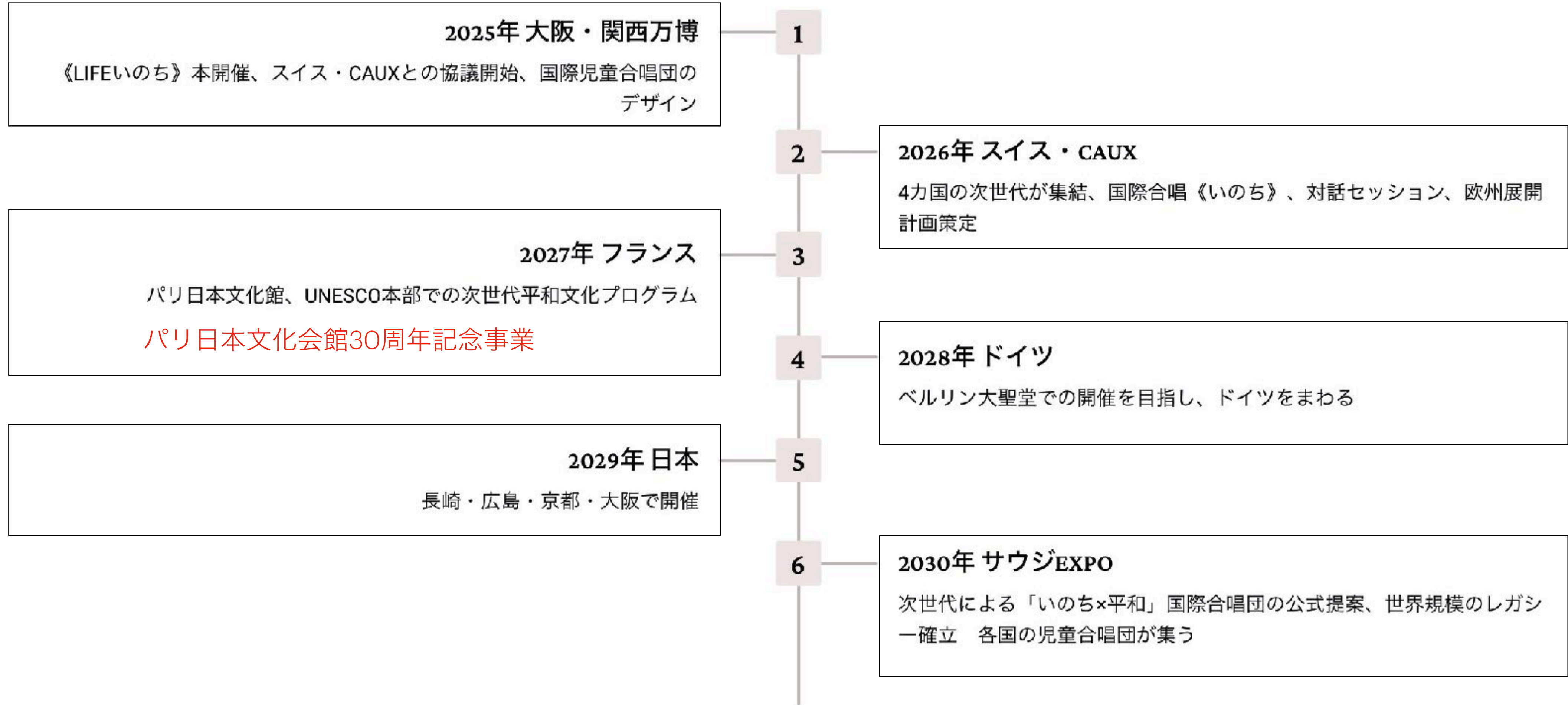
①スイス・CAUX80周年記念オープニングセレモニー

②国際サミット ランチコンサート

③スイス山頂 〈スイスMOB鉄道 山頂までのエクスカージョンを支援〉



# ロードマップ 2025-2030



「万博レガシー 国際平和文化プロジェクト 国内展開される  
すべてのイベントにパートナーとしてご紹介いたします」

## 万博レガシーイベント ①

2026年10月22/23日 京都文化会議2026 世界遺産 仁和寺 〈予定〉

地球規模の課題に対し、各国固有の文化を礎としながら、その違いを乗り越え、持続可能な未来社会を実現するための国際会議。

「文化×環境」「文化×AI」をテーマに、世界遺産・仁和寺にて100名規模の国際的議論を行い、共同宣言の発信をめざす。

### ORGANIZER

(仮称) 京都文化会議実行委員会  
国際高等研究所／国際電気通信基礎研究所  
総合地球環境学研究所 ほか

### ENDORSEMENT

外務省・文化庁・京都府・京都市 (予定)  
協力：仁和寺・NICT・京都超SDGsコンソーシアム  
協賛：ヤマハ・TOPPAN ほか

## 万博レガシーイベント ②

**スイス・CAUX国際平和文化プロジェクト報告会**  
公益財団法人関西・大阪21世紀協会 助成金採択事業

京都：世界遺産 醍醐寺（予定）

日時：2026年10月24日

**LIFEいのち with スーパーキッズ・オーケストラ**  
**フランスパビリオンにて出場したフランス児童合唱団**

主催：（一社）Feel&Sense 共催：いのち会議  
後援予定 京都府・フランス領事館



## 外務省および関係機関との意見交換・連携報告（万博レガシー国際展開に向けて）

外務省関係者および大阪観光局との意見交換。

大阪・関西万博を起点とした「いのち（INOCHI）」の取り組みを、国際文化・平和教育プロジェクトとして世界へ展開するための連携について協議を実施

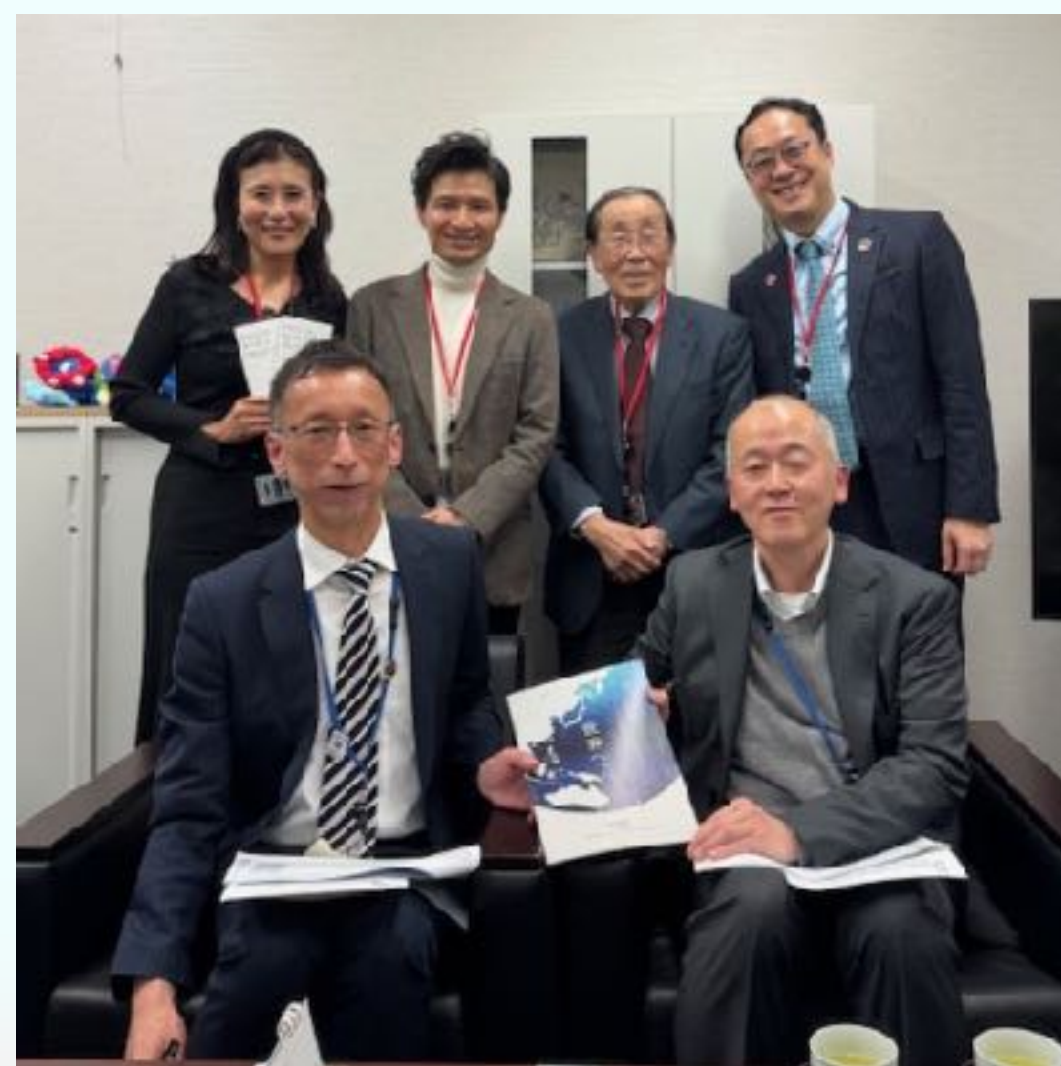
井上内閣審議官には、作品をご覧いただき本取り組みが「いのち」をテーマとする万博の理念を体現するものであり、次世代に向けた重要な文化的・社会的価値を持つプロジェクトであるとの評価をいただいた。



井上 学 内閣官房 内閣審議官（博覧会推進本部事務局 次長）

田中 嘉一 公益財団法人 大阪観光局 統括官

武市 純雄 元世界銀行グループ 国際金融公社（IFC）局長



外務省経済局 2025年日本国際博覧会室

室長 大山様

主査 矢島様



## 年間パートナー

本協賛制度は、大阪・関西万博から生まれた「INOCHI WORLD PROJECT」を、  
スイス・CAUX創立80周年を起点とする国際平和教育プログラムとして継承・発展させるためのものです。

|                |                     |   |
|----------------|---------------------|---|
| Seed パートナー     | 年間寄付額<br>¥100,000   | 感謝状                                     |
| Regional パートナー | 年間寄付額<br>¥500,000   | 公式ウェブサイトおよび年次報告書へのクレジット掲載               |
| Country パートナー  | 年間寄付額<br>¥1,000,000 | 上記+ 冊子・イベントスクリーン等にロゴ掲載 <b>ロゴ小</b>       |
| Earth パートナー    | 年間寄付額<br>¥3,000,000 | 上記+ ロゴ掲載 <b>ロゴ中</b> + 公式イベントへのご招待（10名様） |
| Universe パートナー | 年間寄付額<br>¥5,000,000 | 上記すべて+ ロゴ掲載 <b>ロゴ大</b> + 公式出版物〈記念冊子〉    |

すべての協賛者様へ、Feel & Senseの代表と、Cauxの代表の署名入りの感謝状をお贈りし、年次活動報告書にてご紹介いたします。

## 2025万博のレガシーは「世界平和・世界協調」

### 第三次世界大戦を防ぐため、平和を築くのが我々の使命です

「いのちを掲げた日本が、未来に何を残すのか」。その意思を、大阪・関西万博で「いのち」をテーマに、ともに発信した国々と共創し、国境を越えて次の時代へと「いのち」の価値観を受け渡していくこと。それが、このプロジェクトの本質です。

世界が平和になるためには、一人ひとりが「いのちの源」に立ち返る機会を創造し、共鳴させていくこと。スイス・CAUXとのパートナーシップのもと、世界36か国以上に広がるCAUXの国際ネットワーク、日本国際交流基金との連携を活かしながら、各地で「いのちの合唱団」「いのちのオーケストラ」を展開していきます。

子どもたち自身の言葉による「未来平和宣言」は、分断と対立が深まる現代において、次の時代への希望を示す象徴的なメッセージとなります。小さな声が重なり合い、大きな流れとなり、やがて社会を動かす力へとつながっていく。その可能性を、このプロジェクトは持っています。

本取り組みの趣旨にご理解を賜り、ともにこの挑戦を実現していけましたら幸いに存じます。

Feel&Sense

### **お問い合わせ / Contact**

一般社団法人 Feel & Sense

INOCHI WORLD PROJECT事務局

E-mail: [info@feelandsense.co](mailto:info@feelandsense.co)

Website: <https://www.feelandsense.co>

General Incorporated Association Feel & Sense

INOCHI WORLD PROJECT Office

E-mail: [info@feelandsense.co](mailto:info@feelandsense.co)

Website: <https://www.feelandsense.co>